

# 製品安全データシート

## 1. 製品および会社情報

製品名：モノタロウケーブルタイ(耐候タイプ)

参照番号：00071

日付：2009年8月21日

会社情報：

会社名：株式会社MonotaRO

所在地：〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階

担当者名：商品お問い合わせ窓口

電話番号：0120-443-509

FAX番号：0120-289-888

緊急連絡先：所在地と同じ

整理番号：M180314

## 2. 危険有害性の要約

### 緊急事態の概観

形態：ペレット

色：各種

臭気：無臭

### 注意喚起語

本製品に関連する重大な危険性はない

### 健康への潜在的影響

可能性のある暴露経路：眼および皮膚の接触、吸入

眼に入った場合：眼に対する軽微な刺激性がわずかにある場合あり。  
埃のせいで異物によるような刺激を目に与える場合あり。

皮膚に触れた場合：皮膚に対する刺激性はない。  
吸収しても軽微な毒性があるにすぎない。

吸入した場合：吸入しても軽微な毒性があるにすぎない。  
処理温度を上げると、吸入した場合、  
刺激性の蒸気の放出を生じさせるおそれ。

飲み込んだ場合：飲み込んだでも軽微な毒性があるにすぎない。  
ほんの少量（一口未満）飲み込んだだけでは健康に重大で有害な影響をもたらす可能性はない。

有害性情報に関しては、セクション11を参照。

### 3. 組成および成分情報

<u>成分</u>	<u>CAS No.</u>	<u>平均濃度</u>	<u>濃度範囲</u>	<u>単位</u>
アジピン酸-ヘキサメチレンジアミン樹脂 (ナイロン6/6)	32131-17-2		45.0 ~ 90.0	%
ポリカプロラクタム (ナイロン6)	25038-54-4		0.0 ~ 30.0	%
カプラミド-ヘキサメチレンアジパミド重 (ナイロン6、6/6)	24993-04-2		0.0 ~ 25.0	%
カーボンブラック	1333-86-4		0.0 ~ 5.0	%

下限0%で列挙される成分が、最終製剤に存在する場合もある。

### 4. 応急措置

眼に入った場合：	即刻の応急処置が求められる可能性はまずない。 本製品は水で除去可能である
皮膚に付着した場合：	即刻の応急処置が求められる可能性はまずない。 本製品は水で除去可能である。 再利用する前に、汚れた衣服をよく洗うこと。
吸入した場合：	即刻の応急処置が求められる可能性はまずない。 症状が発生した場合、風通しの良い場所に移すこと。 製品を眼、皮膚、衣服から除去すること。
飲み込んだ場合：	即刻の応急処置が求められる可能性はまずない。 医師に連絡しアドバイスを求める。 再利用する前に、汚れた衣服をよく洗うこと。

### 5. 火災時の措置

燃焼危険物：	一酸化炭素 (CO) ; 二酸化炭素 ; アンモニア (NH <sub>3</sub> ) ; シアン化水素 (HCN) ; 窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> )
消火剤：	噴霧水、泡状物質、粉末薬品、二酸化炭素
特殊な火災および爆発危険有害性：	知見なし
消火設備：	消防士および他の消火従事者は自給式呼吸器を着用のこと。 設備は使用後、徹底的に洗浄する。
各種助言：	本製品が粉砕されたり、あるいは粉砕処理で微粉が発生し、 この微粉が十分な量空中に浮遊した場合、 爆発性混合物を生成する可能性がある。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項： セクション8で推奨の対人保護具を着用のこと。本製品はスリッパの危険性を生じさせることがある。

環境に対する注意事項： 排水および水路は避けること。ペレットは、穀物に似ているために、野生生物に対し体内摂取の有害危険性を招く可能性がある。

洗浄の方法： 漏出した場合、掃く、あるいはすくい取る、あるいは掃除機をかけ除去すること。漏出したエリアを水で洗い流すこと。

廃棄情報に関してはセクション13を、報告義務のある量についての情報に関してはセクション14および15を参照。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

良好な工業衛生・安全手法に従って取扱うこと。これらの手法には、不必要な暴露を避けること、および眼、皮膚、衣服からの本製品の除去を含む。

空になった容器は、蒸気および製品残留物が残っている。容器が清浄になるか、再生されるか、あるいは完全に使えなくなるまで、全ての推奨される安全性注意事項を順守すること。非工業的目的で本製品の容器を再利用することは禁止されており、かついかなる再利用も、本製品安全データシートに提供されているデータに鑑みて行われなければならない。

### 保管

一般性： 取扱いおよび保管の通常の条件下で安定的

## 8. 暴露防止及び保護措置

気中浮遊暴露限度：(ml/m<sup>3</sup> = ppm)

VYDYNE®添加剤入りナイロン6,6 (クラス105)：

労働安全衛生庁 (OSHA) や米国産業衛生専門家会議 (ACGIH) は本製品に関しては具体的な暴露限度を規定していない。しかしながら、他に規制されない微粒子 (PNOR) 及び他に分類されない微粒子 (PNOC) それぞれに関しては限度を規定しており、これらは粉塵に対して適用される最低の暴露限度である。

OSHA 許容暴露限度(PEL): 15 mg/m<sup>3</sup> (合計粉塵) 8-hr (8時間) 時間加重平均 (TWA)

OSHA 許容暴露限度(PEL): 5 mg/m<sup>3</sup> (呼吸域) 8-hr (8時間) 時間加重平均 (TWA)

ACGIH 限界値 (TLV)： 10 mg/m<sup>3</sup> (合計粉塵) 8-hr (8時間) 時間加重平均 (TWA)

ACGIH 限界値 (TLV)： 3 mg/m<sup>3</sup> (呼吸域) 8-hr (8時間) 時間加重平均 (TWA)

カーボンブラック：

ACGIH限界値 (TLV)： 3.5 mg/m<sup>3</sup>；； 8-hr (8時間) 時間加重平均 (TWA)

ACGIH 許容暴露限度(PEL)： 3.5 mg/m<sup>3</sup>；； 8-hr (8時間) 時間加重平均 (TWA)

メキシコ 職業暴露限度 (OEL)： 3.5 mg/m<sup>3</sup>；； 8-hr (8時間) 時間加重平均 (TWA)

メキシコ 職業暴露限度 (OEL)： 7 mg/m<sup>3</sup>；； 15-min (15分) 短時間暴露限界値 (STEL)

- 眼の保護： 特別な保護を必要とする眼に対する重大な刺激あるいは眼に対する毒性は引き起こさない。眼に対する接触を避けるための良好な工業的实施を行うこと。
- 手の保護： 本製品は、特別な保護を必要とする皮膚に対する重大な懸念はない。
- 身体の保護： 本製品は、皮膚に対する重大な懸念はないが、良好な工業的实施に従うことによって皮膚汚染を最小限に抑える必要がある。
- 呼吸器の保護： 粉塵を吸い込むことを避ける。気中浮遊暴露限度を超えた時は、認可呼吸器保護装置を使用すること。所与の適用のための適切なタイプを特定するために、呼吸器保護マスクメーカーに相談すること。メーカーによって指定された呼吸器保護マスクの使用上の限度を順守すること。
- 換気： 暴露を最低限に抑えるために、自然のあるいは機械的な換気を行うこと。実行可能であれば、処理設備等の空気汚染の元となった場所で、局所的な機械的排気換気装置を使用すること。

本書で言及された成分は、特定のカナダ州法によって規制されている可能性あり。その物質を用いる州で制定されている暴露限度を参照のこと。

## 9. 物理的および化学的性質

引火点：> 371 °C                      推定

密度：1.13 ~ 1.15 g/cm<sup>3</sup>

融点：257 ~ 267 °C

注意：これらの物理的データは試験を行った本製品に基づいた代表値であるが、サンプル間で異なる可能性あり。代表値は、いかなる特定のロットの保証値として、あるいは本製品の仕様として解釈すべきではない。

## 10. 安定性および反応性

避けるべき条件：知見なし

避けるべき原料：知見なし

危険有害反応性：危険有害重合は発生しない。

分解：以下に挙げる温度を超えると分解が起きる。

分解温度：> 300 °C

危険有害分解物：一酸化炭素 (CO)、二酸化炭素、アンモニア (NH<sub>3</sub>)、シアン化水素 (HCN)、窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>)

## 11. 有害性情報

株式会社MonotaROは、本製品に関して毒性研究は行っておらず、かつ入手可能な科学的文献の合理的広範な調査において、有害性情報は入手されなかった。類似製品に関して行われた単回被爆（急性）毒性研究の結果は、これらの製品は、経口にて（ラット）および皮膚塗布後（ラビット）、実用上毒性がないことを示している。これらの製品は、ラビットの皮膚に対し実用上刺激性はなく、かつラビットの眼に対しては実用上刺激性なしから軽度の刺激性ありの範囲にある。反復経口投与の結果から生じる、特筆する有害作用はない。

## 成分

労働安全衛生庁（OSHA）の危険有害性周知基準（29 CFR 1910.1200）又はカナダ危険有害製品法の基準の下、危険有害化学物質として特定された本製品の成分に関する株式会社MonotaROの研究及び入手可能な科学的文献、又はそのいずれかからのデータについて以下に考察する。

### カーボンブラック

呼吸器系の炎症を引き起こす可能性がある。

反復吸入暴露で、動物モデルにおける肺に対し変化を引き起こした。

反復又は持続的皮膚接触で、炎症を引き起こす可能性がある。

経口投与の結果、実用上毒性はなかった。

眼（ラビット）に対し実用上刺激性はなかった。

持続的吸入研究で、肺への影響が認められた。

細菌性細胞及び動物細胞を用いた標準検査において、遺伝的影響は観察されなかった。

動物に対する慢性暴露で、腫瘍発生の増加はなかった。

国際がん研究機関（IARC）によって、「ヒトに対する発がん性の可能性がある」（グループ2B）としてリストされた。

## 1 2. 環境影響情報

株式会社MonotaROは、本製品に関し、環境毒性あるいは生分解研究は行っていない。

## 1 3. 廃棄上の注意

アメリカ合衆国環境保護庁・資源保全再生法における位置付け：

本製品は、廃棄時危険有害廃棄物に該当しない。当表現は資源保全再生法(RCRA), 40 CFR 261によって定義されたものである。

廃棄上の注意： 焼却、リサイクル、埋め立て。

各種助言： 地元、州、国の処分廃棄規制は多少厳しい可能性がある。このような処分廃棄に関する情報については、弁護士又は適切な取締官に相談すること。本製品は、下水道あるいは公的水路に投棄、又は流し込む、又はすすぎ流す、又は洗い流してはならない。

## 1 4. 輸送上の注意

本セクションにおいて提供されたデータは単なる情報である。  
適切な規制を適用して、輸送貨物を正しく分類すること。

アメリカ合衆国運輸省・他：輸送に関する規制はない

カナダ危険物輸送規則・他：輸送に関する規制はない

## 15. 適用法令

化学物質リスト法令順守： 本製品の成分は、以下の国における化学物質管理法の関連必要要件に準拠している。

オーストラリア、カナダ（国内物質リスト（DSL））、中国、日本、韓国、フィリピン、アメリカ合衆国（有害物質規制法（TSCA））。

カナダ作業場危険有害性物質情報制度（WHMIS）分類：規制されていない。

状況認識と対応アシスタント（SARA）危険通知：

タイトルIII規定（40 CFR 370）における危険有害カテゴリ： 適用されない。  
セクション302極めて危険有害な物質： 適用されない。  
セクション313有毒化学物質： 適用されない。

包括的環境対処・補償・責任法（CERCLA）の報告義務のある量： 適用されない。

本製品は、電気・電子機器における特定有害物質の使用制限に関してはEU指令2002/95/EC（RoHS）に、廃棄電気電子機器における特定有害物質の制限に関してはEU指令2002/96/EC（WEEE）に、PBB及びPBDE難燃剤の使用を規制するEU指令2003/11/ECに準拠している。重金属及びハロゲン分析は、誘導結合プラズマ・質量分析法を用いており、結果を次に示す。カドミウム<0.001%、クロム<0.001%、鉛<0.001%、水銀<0.001%、臭素<0.001%。

本製品は、カナダ管理製品規則の危険有害基準に準拠して分類されており、かつ本製品安全データシートは、カナダ管理製品規則によって求められる情報の全てを含んでいる。

労働安全衛生庁（OSHA）/危険有害製品法（HPA）の有害化学物質に関しては、セクション11を、資源保全再生法（RCRA）分類に関してはセクション13を参照。安全データシートはまた、ブラジル法のブラジル技術規準（NBR）14725に準拠して作成されている。

## 16. その他の情報

製品使用： プラスチック樹脂

改定の理由： 新会社名及びセクション15の変更

	健康	火災	反応性	追加情報
提示された全米防火協会（NFPA）の格付け：	1	0	0	
提示された危険有害性物質識別システム（HMIS）の格付け：	1	0	0	A

他の情報： 本製品は、他の共重合体、着色添加物、熱安定剤、難燃剤及び他の性能向上用添加物、又はそのいずれかを含んでいる可能性がある。通常の使用条件下で、これらの添加物はポリマーマトリックス内に含まれており、かつ職業的暴露は、最小限であると予想される。

本書中に示した情報および推奨（以下「情報」）は、誠意を持って提示されており、かつその日付時点において正しいと考えられるが、株式会社MonotaROは、その完全性又は正確性に関しては表明しない。情報は、これを受け取る者が使用に先立ってその目的の適合性に関して自身の決定を行うという条件下で提供される。いかなる場合においても、株式会社MonotaROは、いかなる性質の、性質のいかににかかわらず、情報の利用又は情報に対する信用から生じる損害に対して責任を負わない。情報又は情報が言及する製品に関し、本書に基づき、明示黙示の如何を問わず、商品適格性の、又は特定目的適合性の、又はいかなる他の性質の表明又は保証は行わない。